

Nov.17, 2021



個人投資家様向け オンライン会社説明会

ウルトラファブリックス・ホールディングス(4235)

目次

1. ウルトラファブリックス・グループの概要
2. ウルトラファブリックス・グループのサステナビリティ
3. 業績推移と 2021-2023 中期経営計画
4. 配当

1. ウルトラファブリックスグループの概要

グループ概要

- 事業内容: ポリウレタンレザーの製造・販売(100%)
- 売上高: 10,000百万円(2020年度)
- 従業員数: 285名(2020年12月末現在)
- グループ会社
ウルトラファブリックス・ホールディングス株式会社(JASDAQ上場4235)
第一化成株式会社(製造)・Ultrafabrics Inc.(販売)・Ultrafabrics Europe Ltd.(販売)
- 主要拠点: 八王子本社(東京都八王子市明神町3-20-6 八王子ファーストスクエア6F)
第一化成埼玉事業所・第一化成群馬工場・第一化成研究所
Ultrafabrics Inc.(米国)・Ultrafabrics Europe Ltd.(英国)
ロンドンショールーム



グループ沿革

1966: 合成皮革の製造販売を目的として第一化成株式会社を設立

1979: 埼玉事業所を新設

1987: 研究所を新設

1999: Ultrafabrics, LLC が設立され、第一化成が15%出資

第一化成が ISO9001 の認証を取得

2004: JASDAQ上場

2016: 群馬工場を新設

2017: 第一化成がUltrafabrics, LLCを完全子会社化し、ウルトラファブリックス・

ホールディングスに商号変更、純粋持株会社化

2019: IATF16949:2016 の認証を取得(第一化成・Ultrafabrics Inc.)

2020: ISO14001 の認証を取得(第一化成・Ultrafabrics Inc.)

Comfortable and conscious in every way



Our Mission

Achieve unique texture and high functionality through the spirit of craftsmanship

Aim to be the world's best in engineering, design, and quality
Respect the diversity of people and provide first-class service
Prioritize sustainability while contributing to society

Our Values

Transparency & Accountability
Diversity & Inclusion
Craftsmanship & Pioneering

心地よさは、 誇り



私たちは目指す

感触と機能を、匠の心で両立する
技術・デザイン・品質で世界No.1となる
多様な人材を尊重し、高度なサービスを行う
サステナビリティを重視し、社会へ貢献する

私たちは約束する

「透明性と説明責任」に向かい合う
「多様性を認め合う」風土を持つ
「作る」にこだわる先駆者である

製品の特長

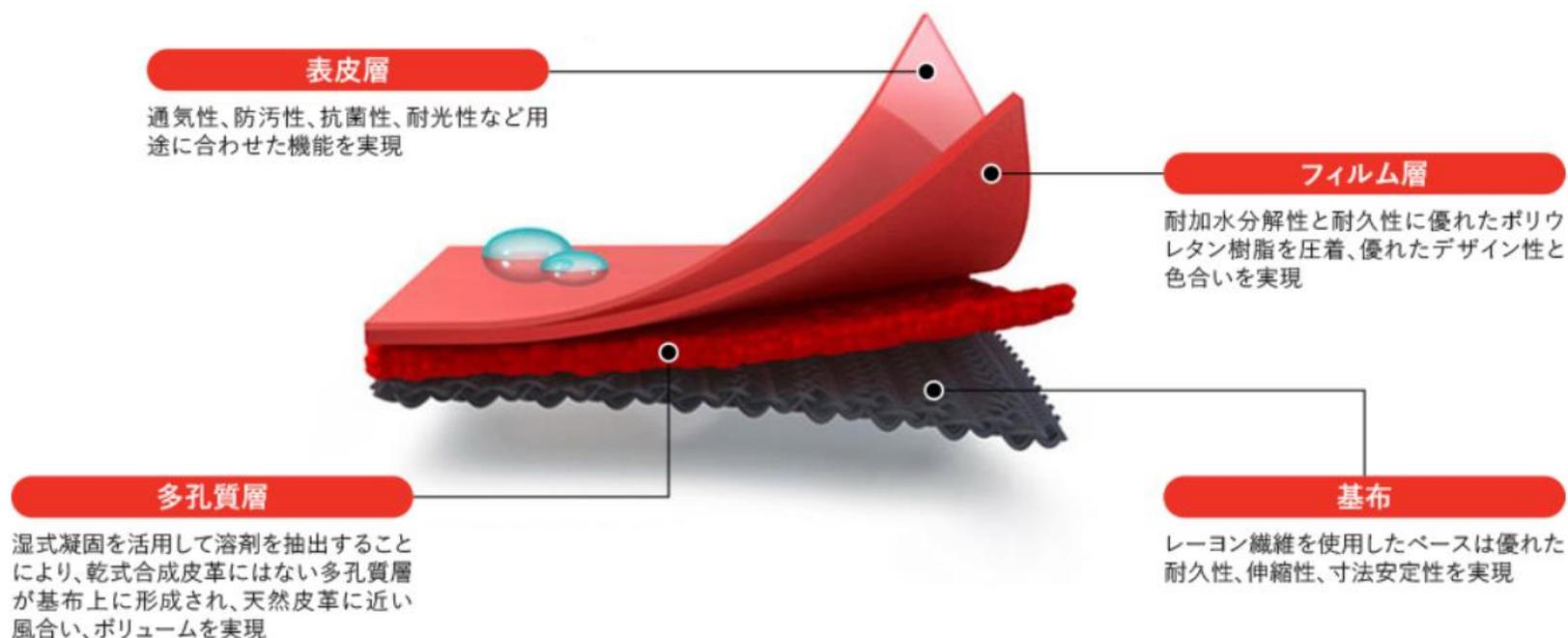
➤ 湿式合成皮革:織物・編物などの繊維素材上にポリウレタン発泡皮膜を積層したもの。

➤ 特長

柔らかな風合いや触感

多彩な色やデザイン性、通気性や防汚性など天然皮革では実現できない様々な機能

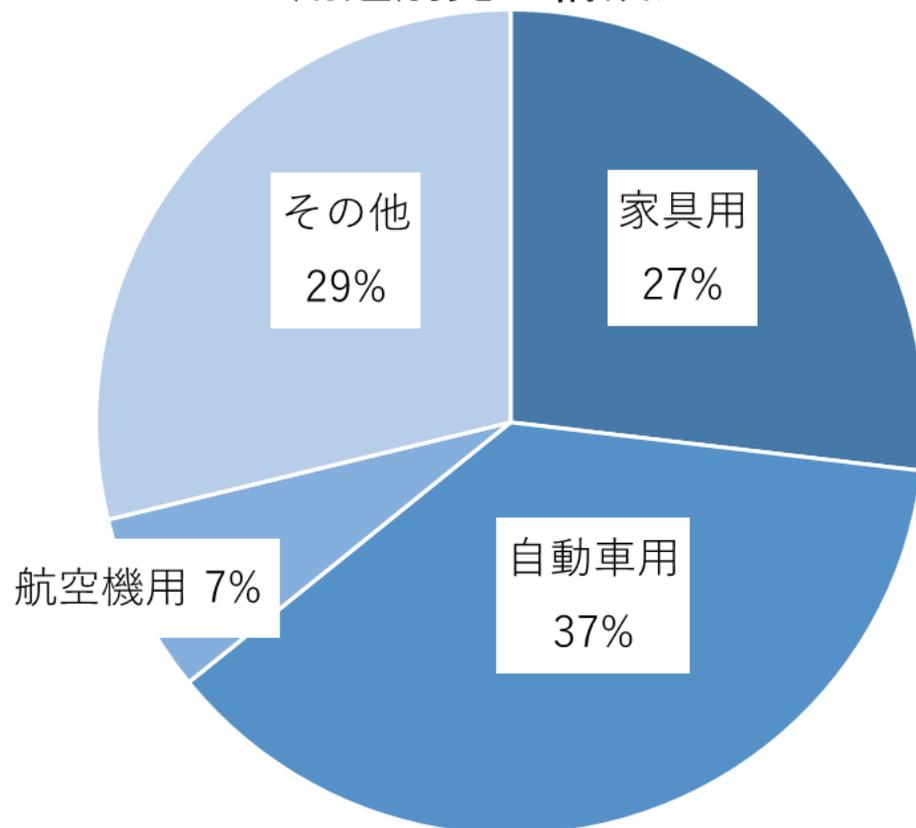
アニマルフリーで軽量、高い耐久性



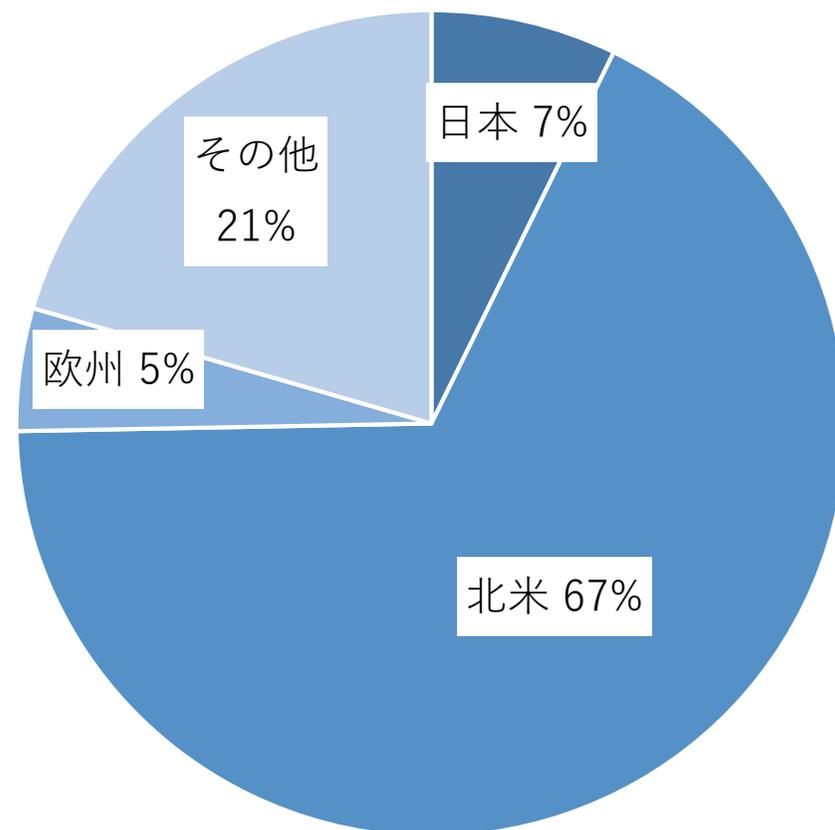
用途別・地域別売上構成比(2020年度)

- 用途がバランスよく分散されており、業界ごとの好不調の影響を低減できる。
- 地域別ではほぼ欧米向け。

用途別売上構成比



地域別売上構成比



家具用

- オフィス向けがメイン。新型コロナウイルスの感染拡大を機に、新たに注目された機能も。
- 住宅用やヘルスケア向けの営業も強化中。
- 米国ではUltrafabricsブランドとして一定の知名度あり。



(OKAMURA)



自動車用

- 売上の中心はシフトブーツ・ギャップハイダーから、カーシート向けへ。
- 当社製品の評価ポイント

アニマルフリー

本革・PVCに比べて耐久性があり、軽量であること

柔らかな手触り

(EVメーカーにとっては)

EVの先進的なイメージとも合致



(Range Rover Evoque)

航空機用

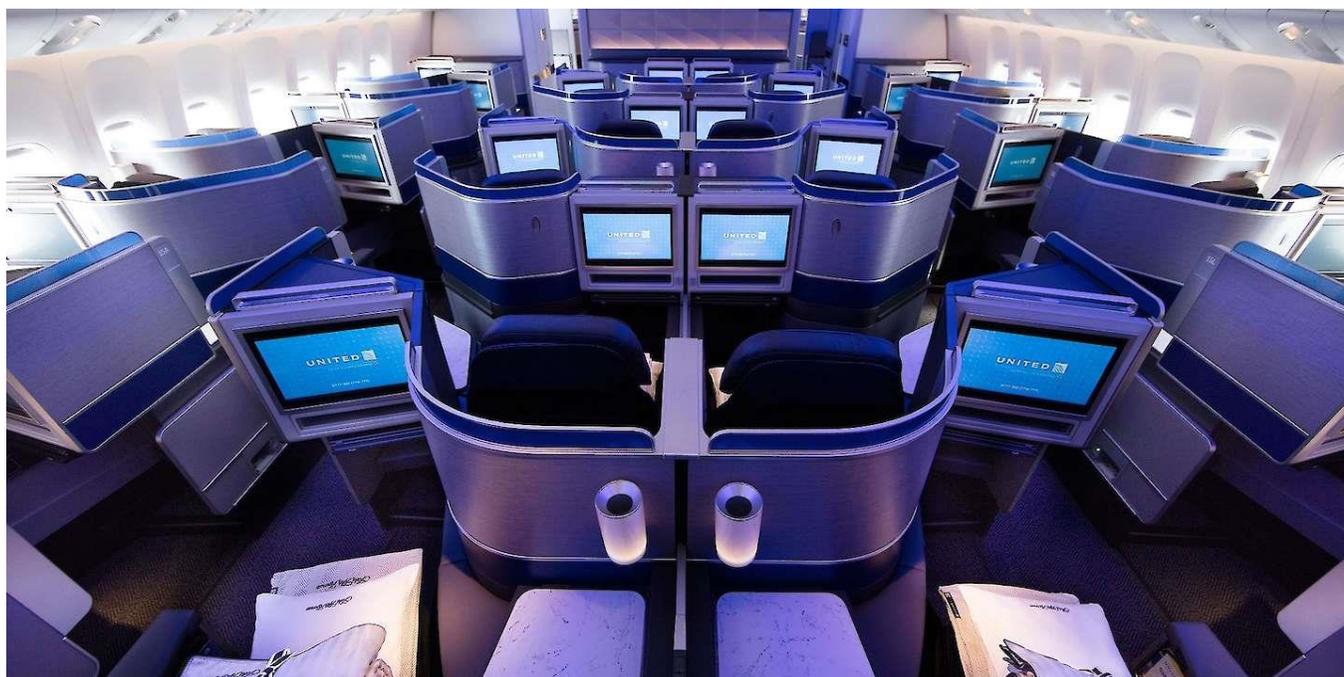
▶ ビジネスジェットから民間航空機向けへ、対象市場を拡大。

▶ 当社製品の評価ポイント

アルコール等で手軽に除菌ができるCleanability

耐久性があり、軽量であること

柔らかな手触り



その他

- RV(キャンピングカー)や小型船舶はコロナ禍における家族単位でのレジャーの嗜好に合致。



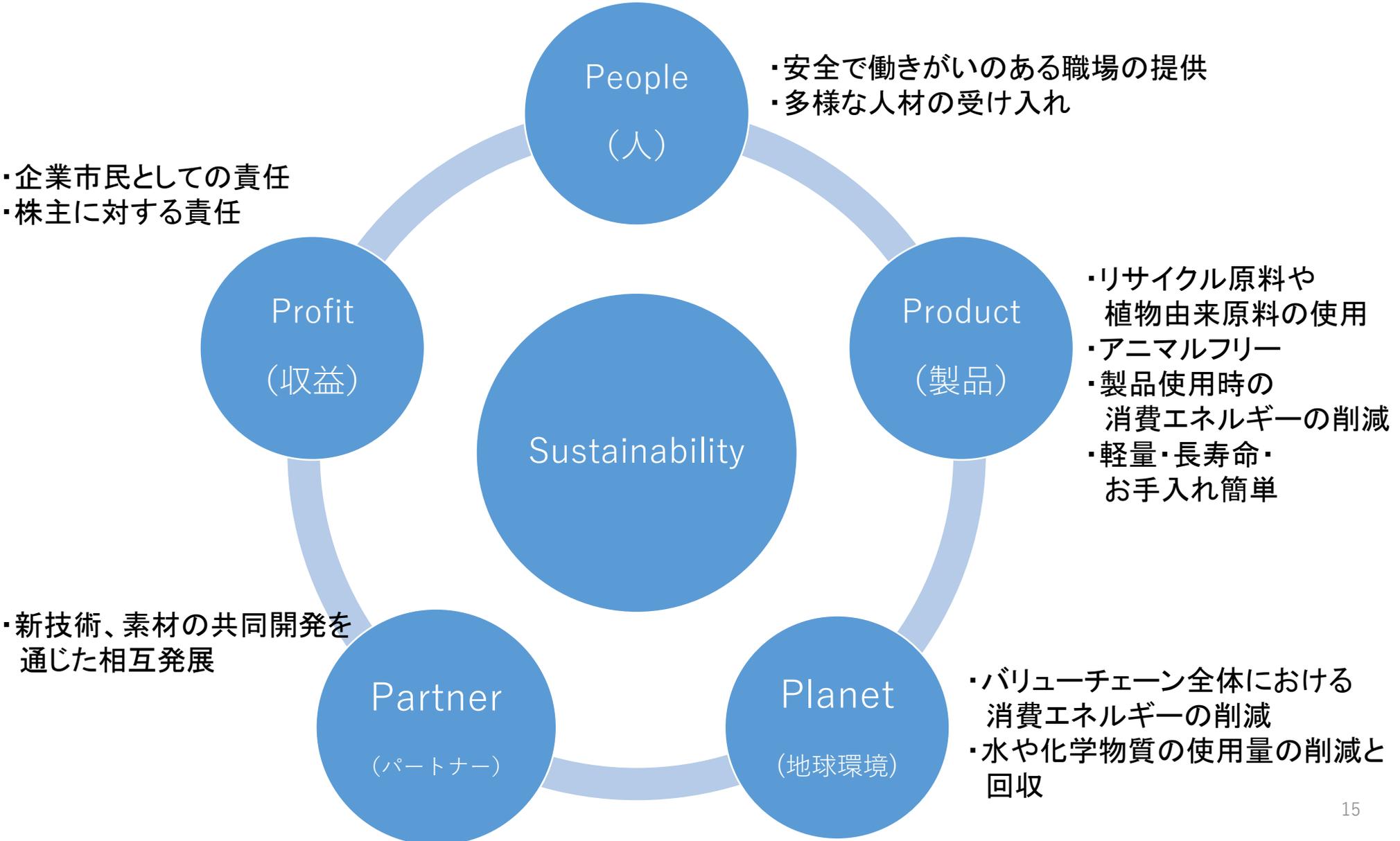
グローバルネットワーク

➤ 第一化成の2工場(埼玉・群馬)で製造し、Ultrafabrics Inc.の北米・欧州拠点等に出荷。



2. ウルトラファブリックス・グループのサステナビリティ

ウルトラファブリックス・グループのサステナビリティ



Volar Vio



- ▶ トウモロコシ由来成分から合成されたポリオールを樹脂原料の一部に使用し、基布には木材パルプを原料とする繊維をその一部に使用。29%のバイオ原料を含む製品としてバイオプリファードプログラム*の認定を受ける。

*アメリカ合衆国農務省(USDA)がバイオマス製品の発展の推進を目的とする取り組み

- ▶ 2020 PETA Vegan Homeware Awardを受賞。

➤ ISO14001の認証取得

第一化成社長をトップマネジメントとする、グローバルに統一した環境マネジメント体制を構築。

➤ 責任ある生産体制の確立

柔らかな風合いとしなやかな触感のため、現段階では製造過程において溶剤を使用。使用された溶剤を回収し、再利用するための設備を2018年に導入した結果、98%以上の回収率を達成。

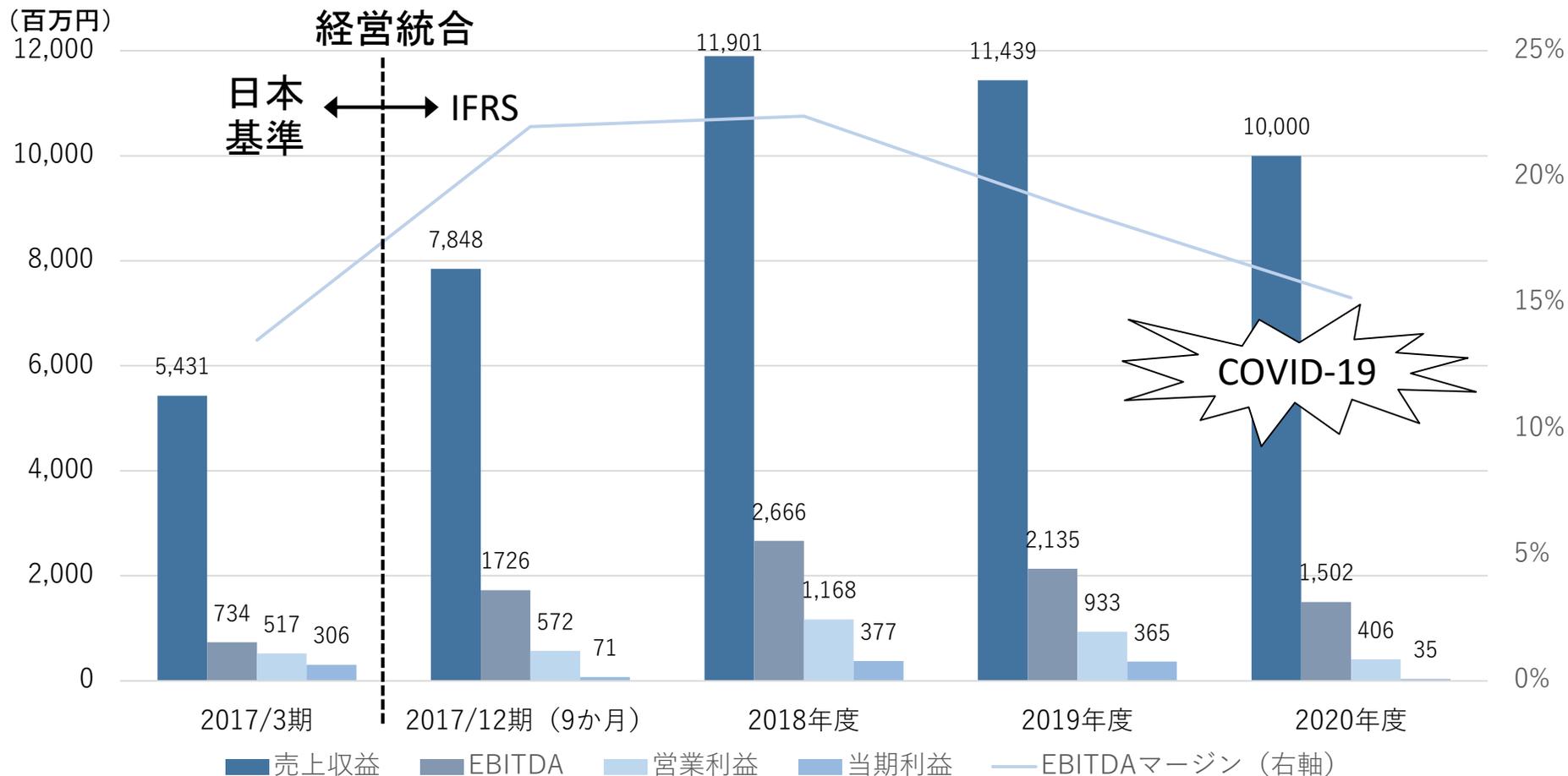
➤ 廃棄物の削減

製造過程で発生した販売不適合品や切れ端を使って、バッグなどを作製し、販売するアップサイクル事業を開始。収益金は寄付する予定。



3. 業績推移と2021-2023 中期経営計画

2017-2020振り返り



- 2018年度: 売上は堅調に推移したものの、のれん償却・株式報酬等、想定外の費用も発生。
- 2019年度: 世界経済の減速を受け後半に失速し、生産量の減少による原価率上昇で減益。
- 2020年度: 新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、後半持ち直すも、減収減益。

2017-2020振り返り

	施策	課題
顧客・市場	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車ビジネスの拡大 ・民間航空会社向け製品開発・マーケティングの強化 ・各種展示会への出展 ・デジタルマーケティングの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定メーカーへの売上依存度引下げ ・価格競争からの脱却 ・ウルトラファブリックスブランドの強化
R&D・製品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ製品/リサイクル製品の開発に着手 ・新機能製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ製品/リサイクル製品の開発 ・新機能製品の遡及とさらなる開発
製造	<ul style="list-style-type: none"> ・製造ラインの2ライン化 ・生産と販売の連動強化 ・化学物質の回収強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造原価率の改善 ・環境負荷の極小化
その他/ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・経営統合の推進 ・ISO14001およびIATF16949認証の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア市場へのアプローチ ・サステナビリティに対する対応強化 ・With/Afterコロナへの対応

2021-2023 中期経営計画(2/15発表) 方針

経営統合の完成から次の成長ステージへ

➤ 2023年度業績目標

- 売上収益145億円 / 売上総利益率47.6% / 営業利益21億円 / EBITDA35億円

➤ 合成皮革のプレミアムブランドとしての地位を確立

- サステナブル製品の開発
- 顧客ニーズに合致した機能性とデザイン性のある新製品の開発

➤ 規模拡大・収益性改善による企業価値の増大

- 特定の顧客に依存せず、各カテゴリーに分散されたバランスよい成長を実現
- 生産効率の改善

➤ 製販が一体化したグループ総合力の強化

- 子会社間でのコミュニケーションの強化
- システムインフラの整備

2021/3Q決算 ～連結損益計算書～

(百万円)	2020年度	2021年度	
	1-3Q	1-3Q	前年比/差異
売上収益	7,107	10,073	141.7%
売上総利益	3,036	4,301	141.7%
営業利益	265	862	325.3%
税引前当期利益	-52	756	-
当期利益	-2	474	-
EBITDA	1,120	1,971	175.9%
売上総利益率	42.7%	42.7%	-0.0P
営業利益率	3.7%	8.6%	+4.8P
EBITDA率	15.8%	19.6%	+3.8P
為替レート(¥/\$)	107.9	108.5	0.6

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた前年度に比較して、売上・利益ともに大幅に回復。
- 物流コスト・原材料コスト上昇の影響を生産数量増加による生産効率アップでオフセットし、売上総利益率は42.7%と横這い。
- 販管費は業績回復に伴う人件費の増加はあるものの販管費全体では小幅な伸びに留まったため、営業利益は前期比3倍以上の大幅増益。
- 為替差損益の改善で、税引前利益・当期利益は黒字転換。

* EBITDA = 税引前当期利益に減価償却費等を戻したものの。税引前キャッシュフロー。

2021/3Q決算 ～用途別売上～

(百万円)	2020年度	2021年度		
	1-3Q	1-3Q	前年度比	
家具用	2,716	2,974	109.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィス家具やレストラン・ホテルなどホスピタリティ分野の回復は遅れ気味。 ・住居、ヘルスケア向けは好調に推移。
自動車用	2,454	3,939	160.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・シート用は販売先自動車メーカーの生産拡大により、引き続き好調に推移。 ・内装用は、一部の販売先に半導体不足の影響あり。
航空機用	640	697	108.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスジェット向けの回復は遅れ気味。 ・民間航空機向けは既存のプログラムに加え、新規のプログラム向けの出荷も開始。
その他	1,295	2,463	190.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響により家族単位での活動に消費者の嗜好が変化したことを受けて、RVや船舶向けの販売が好調。 ・トラック向けは好調な北米市場の需要により好調だったが、半導体不足の影響からやや失速。
合計	7,107	10,073	141.7%	

2021/3Q決算 ～連結貸借対照表～

(百万円)	2020年度末		2021/3Q末		増減
		構成比		構成比	
現預金	3,049	11.0%	2,880	9.7%	-169
営業債権及びその他の債権	1,471	5.3%	2,115	7.1%	643
棚卸資産	1,971	7.1%	2,532	8.5%	561
流動資産合計	6,958	25.2%	8,035	27.0%	1,077
有形固定資産	4,860	17.6%	4,893	16.5%	33
のれん及び無形資産	13,660	49.5%	14,468	48.7%	808
非流動資産合計	20,656	74.8%	21,703	73.0%	1,047
資産合計	27,613	100.0%	29,737	100.0%	2,124
有利子負債	14,855	53.8%	14,652	49.3%	-203
営業債務及びその他の債務	857	3.1%	1,553	5.2%	696
負債合計	18,032	65.3%	19,232	64.7%	1,200
資本合計	9,581	34.7%	10,505	35.3%	924
ネットD/Eレシオ	1.2	-	1.1	-	-0.1

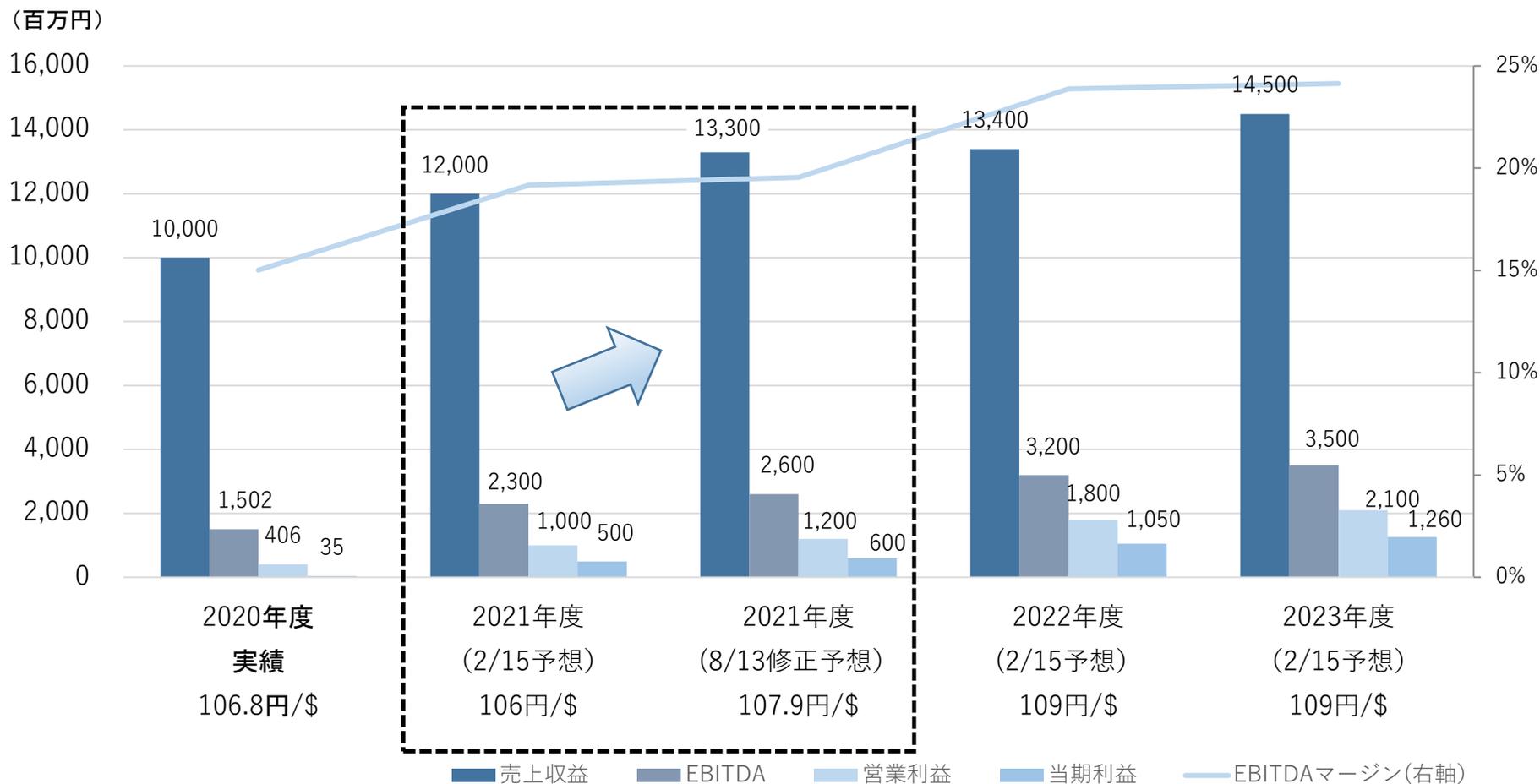
- 資産サイドでは、増収による営業債権・棚卸資産の増加、円安でのれんおよび無形資産が増加。
- ネットD/Eレシオ((有利子負債－現預金)÷資本合計)は0.1ポイント改善。

2021-2023 中期経営計画主要施策(2/15発表)の進捗状況

家具	<ul style="list-style-type: none"> • <u>コントラクト家具の回復に加え、在宅勤務に向けた住宅用家具、吸音性に優れたパーティションなどWith/Afterコロナへの対応</u> • <u>拡大するヘルスケア市場への対応</u> • 消費者が志向するサステイナブル製品の開発 • <u>デジタルマーケティングの推進</u> 	R&D / 製品 開発	<ul style="list-style-type: none"> • <u>バイオ/リサイクル製品の開発</u> 2025年には新規開発製品の50%をバイオ/リサイクル素材を原材料として使った製品とする • グループ内コミュニケーションの円滑化による開発スピードのアップ
航空機	<ul style="list-style-type: none"> • <u>航空業界の緩やかな回復を見込み、民間航空機向け新規プログラム売上が伸長</u> • <u>軽量化素材の販売促進</u> 	製造	<ul style="list-style-type: none"> • <u>工程進捗管理システムの導入により、製造工程を系統的に可視化、製造業務の効率化・迅速化・品質向上を図る</u> • <u>群馬工場敷地内に新倉庫を建設し、原材料・仕掛品の管理を効率化</u> • 将来的な生産キャパシティの確保
自動車	<ul style="list-style-type: none"> • 既存顧客への売上伸長に加え、新規顧客(特にEV)に向けたシートプログラムを獲得 	管理 / その他	<ul style="list-style-type: none"> • アジア市場へのアプローチの検討 • 情報システム戦略の策定

- 生産: 受注増に対して生産シフト変更で増産対応。
- 自動車: リサイクル素材への置き換えを進める研究開発が進行中。
- 設備: 群馬工場内に新倉庫が稼働し、太陽光パネル・蓄電池を設置。

2021年度通期予想と中期経営計画の進捗状況



- 2021年度は中期経営計画を上回るペースで推移しており、8/13修正予想に対しても順調な進捗状況。
- 通期決算発表時にローリングし、2022年度～2024年度中期経営計画を公表予定。

4. 配当

配当

(百万円)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 予想
一株当たり配当金 (円)				
普通株式	24	26	20	26
優先株式	26	28	22	28
配当金総額	198	219	171	225
当期利益	377	365	35	600
配当性向	52.5%	59.5%	495.0%	37.4%

- 基本方針:株主の皆様に対して安定した配当を継続することを基本とし、企業体質の強化を図りつつ、将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案し、配当を行う。
- 2021年度は、現段階では当初予想の普通株式26円・優先株式28円から変更していない。